

製品名: カゼインキナーゼ I α (リン酸化 Tyr321) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab04364

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	CSNK1A1
別名	CSNK1A1; Casein kinase I isoform alpha; CKI-alpha; CK1
遺伝子 ID	1452.0
SwissProt ID	P48729
免疫原	抗血清は、ヒトカゼインキナーゼ I α の Tyr321 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 287-336

背景

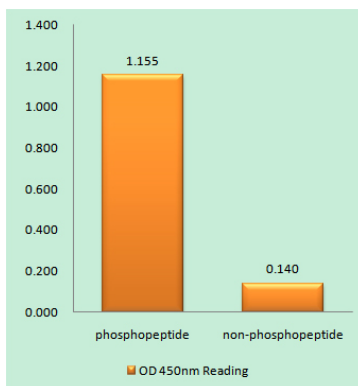
触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: カゼインキナーゼは、カゼインなどの酸性タンパク質を基質とし

て優先的に利用することで操作的に定義されます。多数のタンパク質をリン酸化できます。Wntシグナル伝達に関与します。CTNNB1のSer-45をリン酸化します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CK1 Ser/Thrタンパク質キナーゼファミリー。カゼインキナーゼIサブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。サブユニット: モノマー。Axin複合体と相互作用します。触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: カゼインキナーゼは、カゼインなどの酸性タンパク質を基質として優先的に利用することで操作的に定義されます。多数のタンパク質をリン酸化できます。Wntシグナル伝達に関与します。CTNNB1の「Ser-45」をリン酸化します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CK1 Ser/Thrタンパク質キナーゼファミリー。カゼインキナーゼIサブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。サブユニット: モノマー。Axin複合体と相互作用します。、

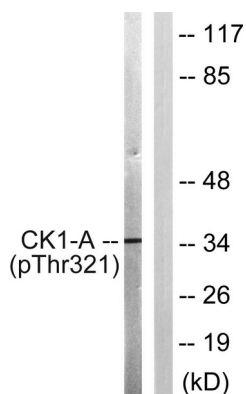
研究分野

WNT;WNT-T細胞ヘッジホッグ;

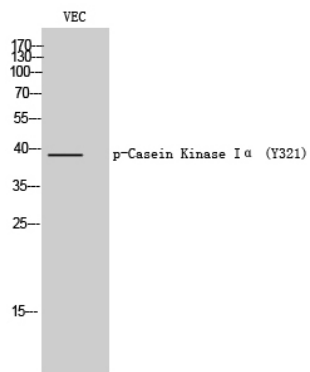
画像データ



カゼインキナーゼIアルファ（リン酸化Tyr321）抗体を用いたリン酸化ペプチド（リン酸化左）および非リン酸化ペプチド（リン酸化右）免疫原の酵素結合免疫吸着測定法（リン酸化ELISA）



カゼインキナーゼIアルファ（リン酸化Tyr321）抗体を用いたHUVEC細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



ホスホカゼインキナーゼ I α (Y321) ポリクローナル抗体を用いた VEC 細胞のウェスタンブロット解析